

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	神奈川工科大学
設置者名	学校法人幾徳学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画書として作成・公表する「シラバス」では授業科目毎に下記の内容を記載することとして、各科目担当教員に対して、作成時の留意事項及び記載内容を明示した「シラバス作成にあたり」を配付している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「科目名称 (英文科目名称含む)、担当教員名称」 ● 「開講期間、配当年次、単位数、科目区分 (共通・専門等)、科目必修・選択」 ● 「授業概要」 ● 「到達目標」 ● 「履修条件、他学科との関係」 ● 「授業形式・形態」 ● 「評価方法」 ● 「学修上のアドバイス、履修上の注意事項」 ● 「教科書、参考図書」 ● 「授業計画 (各回の学修内容と事前学修課題と事後学習課題)」 <p>上記の内容を踏まえて、例年4月1日より、学生に対してホームページを介して公表している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>ホームページにて公表</p> <p>http://kw.kait.jp/kw/class/syllabus.html</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定については、「神奈川工科大学単位認定要項」に則り行われている。単位数の計算基準は、単位の実質化に配慮し大学設置基準に基づいて作成し、認定の手続きについては、仮認定、最終認定、時期等を明確化した上で、「教務委員会規程」に基づき運用されている。また、外部試験(資格)等を活用した単位認定や既修得単位の認定についても「教務委員会規程」に基づき認定を行っている。</p> <p>加えて、学修成果については、教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)に関連して、学科ごとで「創造的思考力」、「チームワーク」、「基礎学力」の3点を視座とした「学修成果の評価方法」を定め厳格かつ適正に評価した上で、上述の各要項・規程に基づいた運用を行っている。</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
 成績評価において客観性・厳格性を担保する措置として、公開しているシラバスに評価項目と評価に対するその割合を明示の上、GPA制度を導入している。GPA制度については、冊子「履修&授業 Guide Book」にてその制度の主旨と運用方法を開示し、成績の分布状況については「ホームページ」にて公表している。
 ちなみに、GPA制度を用いた成績評価については、学科別・年次別成績優秀者表彰の選定、1年間に履修できる単位数の上限緩和、成績不振者(当該保証人)への通知文送付の判断基準として活用されている。

●GPAの評価別加重点

成績評価 (Grade)	加重点 (Point)
S (秀) 合格 基準点 100点から 90点	4点
A (優) 合格 基準点 89点から 80点	3点
B (良) 合格 基準点 79点から 70点	2点
C (可) 合格 基準点 69点から 60点	1点
E (不可) 不合格 59点以下	0点
X (受験放棄その他評価不可能な場合の不可) 不合格	0点
D (不可) 不合格 59点以下、次年度の受講免除	0点

※他大学等での単位取得「認定」(合格)があり、GPA制度の対象外としている。

●GPAの計算方法

$$GPA = (\text{各成績評価の加重点} \times \text{単位数}) \text{の合計} \div \text{履修単位数}$$

※小数点第3位を四捨五入する。

※再履修科目が合格した場合、当該不合格科目の履修単位数が分母から除外する。

客観的な指標の算出方法の公表方法	成績算出方法は、履修&授業 Guide Book にて公表 成績分布状況は、ホームページにて公表 https://www.kait.jp/about/ir/
------------------	--

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)
 卒業の認定方針については、教育目的である「考え、行動する人材の育成—社会で活躍できる人づくり—」をベースとして、教育目標(創造する力、豊かな人間性、コミュニケーション能力、基礎学力)を反映する内容としており、その目標とする人材像にも関連づけて学部・学科ごとに設定されている。これらはホームページをはじめ、冊子「履修要綱」や冊子「教育目的・3つのポリシー」を通じて公表している。適切な実施にあたっては、教育課程編成・実施の方針(カリキュラムポリシー)に関連して、学科ごとで「創造的思考力」、「チームワーク」、「基礎学力」の3点を視座とした「学修成果の評価方法」を定め実施している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページにて公表 https://www.kait.jp/about/aim/
------------------	---